

# オオダイコンソウ

*Geum aleppicum*

バラ科



オオダイコンソウ

## 名前の由来

ダイコンソウより大きく、根元からのびる根出葉の形状が大根に似ていることから名付けられた。

漢字名：大大根草

## 形態的特徴

高さ60~80cmになり、全体に粗い毛がある。根元からのびる根出葉には長い柄があり、葉身は羽状に深く裂け（奇数羽状複葉）頂羽片とすぐ下の羽片が大きく、他の側裂片は小さい。茎葉は3枚の小葉に分かれ（三出複葉）、上部のもの程小さくなる。葉の縁には粗い鋸歯がある。托葉が大きく明確な鋸歯があるのが特徴。花は黄色で径1.5~2cm、5枚の落ちやすい花びら（花弁）があり、中心部は緑色で

球形に盛り上がっている。花後の集合果が楕円形になるのが特徴。

類似種と見分け方：ダイコンソウ、カラフトダイコンソウ。ダイコンソウ、カラフトダイコンソウの托葉は小さく縁に鋸歯はない。また集合果は球形になる。

## 生育環境・分布

林内や林縁、草地に普通に見られる。

分布：国外分布は、樺太・朝鮮・中国・シベリアからヨーロッパ。

国内分布は、北海道から本州中北部。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、林内や林縁、草地に普通に見られる。



オオダイコンソウ。円内は集合果、楕円形で、かぎ状の毛あり

## 生活史

開花時期：6~8月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。集合果にはかぎ型の毛が多数あり、動物や人の衣服について運ばれ、分散される。

## 興味深い話

■根元から出る葉は野菜の大根の葉に実によく似る。集合果にはかぎ型の毛が多数あり、動物や人の衣服について運ばれ、分散される。



オオダイコンソウの根出葉。ダイコンの葉と似ていて、名前の由来に

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期				■								

## 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「花のおもしろフィールド図鑑 夏」 ピッキオ 実業之日本社

2001

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ